

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

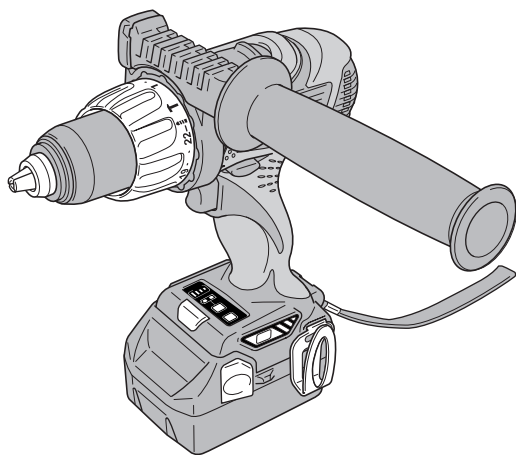
用途

- 小ねじ・木ねじ・タッピンねじなどの締付け、ゆるめ
- 鉄工ドリルで金属の穴あけ、木工ドリルで木材の穴あけ
- コンクリート・モルタル・レンガ・ブロックなどの穴あけ

日立 コードレス振動ドライバドリル

14.4V DV 14DBL 18V DV 18DBL

このたびは日立コードレス振動ドライバドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



DV 18DBL

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	8
仕様	9
標準付属品	10
各種先端工具のご紹介	11

はじめに

各操作部（機能）の使い方	12
充電する	17
ねじを締める／はずす	19
穴をあける	21
上手な穴のあけ方	23
締付け作業上のご注意	24

使い方

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

その他

HITACHI

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0℃ 未満、または温度が 40℃ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具体体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具体体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具体体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具体体を使用してください。**
 - 小形の工具体体やアタッチメントは、大形の工具体体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス振動ドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリルなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動など工具本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

- ① 工具類(ビットやドリルなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後のドリルや切りくずは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
 - 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径のドリルは折れやすいのでご注意ください。
 - 飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 工具本体に材料をたたいたり、落下させるなどの強い衝撃を加えないでください。
 - 内蔵している精密部品が破損し、動作不良や誤動作等をおこす原因になります。
- ⑦ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。
 - 確実にしないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

本製品はモーター部に強力な永久磁石を使用しております。この永久磁石による工具本体への切りくず等の付着や電子機器への影響について、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 注意

- ① 金属の切りくずが散乱した作業台、作業場などに工具本体を置かないでください。

• 切りくずが付着し、けがや故障の原因になります。

- ② 切りくずが付着した工具本体に、触れないでください。付着した切りくずは、ハケなどで取除いてください。

• けがの原因になります。

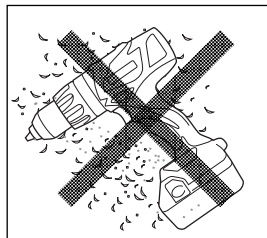
- ③ ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用したり、近づかないでください。

• 正常な動作を損なう恐れがあります。

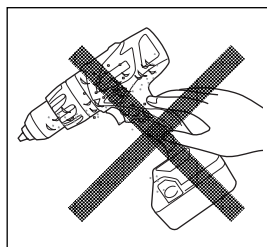
- ④ 携帯電話などの精密機器、磁気カード類や電子記録媒体を工具本体に近づけないでください。

• 誤動作、故障、記録の破損などの原因になります。

①



②



リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると (BSL 1430 / BSL 1440 / BSL 1450 の場合: 電池電圧 8 V まで低下、BSL 1830 / BSL 1840 / BSL 1850 の場合: 電池電圧 10 V まで低下) モーターが停止します。

このときは速やかに充電してください。

- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。

このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

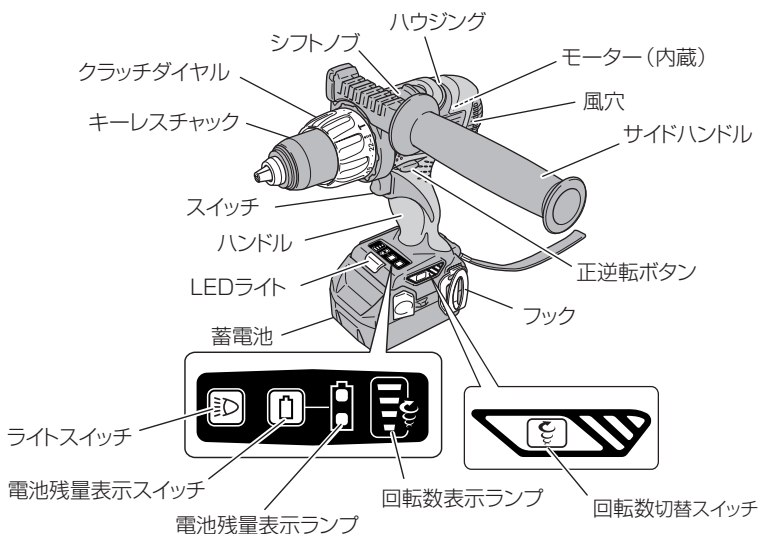
- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

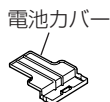
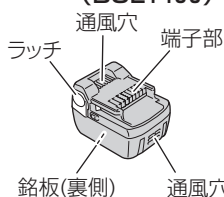
各部の名称

工具本体 【イラストはDV 18DBLです】

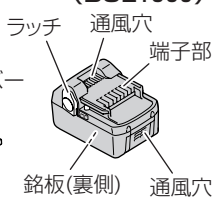


蓄電池

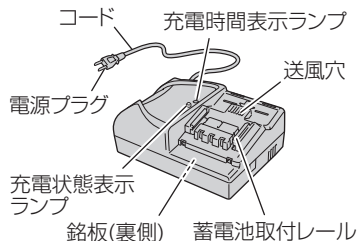
14.4V (BSL1430)
(BSL1440)
(BSL1450)



18V (BSL1830)
(BSL1840)
(BSL1850)



充電器



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

仕 様

1. 工具体体

形 名		DV 14DBL		DV 18 DBL	
能 力	穴 あ け	鋼 材 : 直径 13 mm アルミ : 直径 13 mm 木 材 : 直径 50 mm コンクリート : 直径 14 mm		鋼 材 : 直径 13 mm アルミ : 直径 13 mm 木 材 : 直径 65 mm コンクリート : 直径 16 mm	
	ねじ締め	小ねじ : 6 mm 木ねじ (下穴あり) : 呼び径 8 mm×長さ 75 mm		小ねじ : 6 mm 木ねじ (下穴あり) : 呼び径 8 mm×長さ 100 mm	
締付け トルク	1	約 2.0 N・m { 20 kgf・cm }			
	4	約 2.9 N・m { 29 kgf・cm }			
	7	約 3.7 N・m { 38 kgf・cm }			
	10	約 4.6 N・m { 47 kgf・cm }			
	19	約 7.1 N・m { 73 kgf・cm }			
	22	約 8.0 N・m { 82 kgf・cm }			
		低速:約 67 N・m { 684 kgf・cm } 高速:約 14 N・m { 143 kgf・cm }		低速:約 74 N・m { 755 kgf・cm } 高速:約 15 N・m { 153 kgf・cm }	
無負荷 回転数 (気温 20℃ 満充電時)	モード	低速	高速	低速	高速
	強	0～400 min ⁻¹ 回/分	0～1700 min ⁻¹ 回/分	0～400 min ⁻¹ 回/分	0～1800 min ⁻¹ 回/分
	中	0～300 min ⁻¹ 回/分	0～1400 min ⁻¹ 回/分	0～300 min ⁻¹ 回/分	0～1400 min ⁻¹ 回/分
	弱 2	0～250 min ⁻¹ 回/分	0～1100 min ⁻¹ 回/分	0～250 min ⁻¹ 回/分	0～1100 min ⁻¹ 回/分
	弱 1	0～200 min ⁻¹ 回/分	0～ 900 min ⁻¹ 回/分	0～200 min ⁻¹ 回/分	0～ 900 min ⁻¹ 回/分
モ ー タ ー		直流モーター			
キーレスチャック容量		最大把握径 13 mm			
蓄 電 池		円筒密閉形リチウムイオン電池			
		電圧 14.4 V		電圧 18 V	
工具本体寸法 全長×全高×全幅		220 mm×245 mm×74 mm (蓄電池装着時)		220 mm×245 mm×74 mm (蓄電池装着時)	
質 量		2.0kg (蓄電池装着時)		2.2kg (蓄電池装着時)	
LED ライト		白色LED			
残量表示ランプ		赤色LED			
振動 3 軸合成値 ※1		回転 + 打撃 14.5 m/s ² ※2 回転 < 2.5 m/s ² ※2		回転 + 打撃 14.5 m/s ² ※2 回転 < 2.5 m/s ² ※2	

※1 : 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、
 JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
 ウェブサイト : <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
 をご参照ください。

※2 : 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-1 規格に基づき測定しています。

2. 充電器

形 名	UC 18YSL2
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間 [気温 20℃時]	BSL 1450 / BSL 1850 …約35分 BSL 1440 / BSL 1840 …約30分 BSL 1430 / BSL 1415 / BSL 1830 …約22分
充 電 電 圧	14.4 V - 18 V
充 電 電 流	BSL 1450 / BSL 1440 / BSL 1430 / BSL 1850 / BSL 1840 / BSL 1830 : 7.5 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.7 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
冷 却	対応（ファン付き）

3. 蓄電池

形 名	BSL 1430	BSL 1830
容 量	3.0 Ah {3,000 mAh}	
冷 却	対応	

形 名	BSL 1440	BSL 1840
容 量	4.0 Ah {4,000 mAh}	
冷 却	対応	

形 名	BSL 1450	BSL 1850
容 量	5.0 Ah {5,000 mAh}	
冷 却	対応	

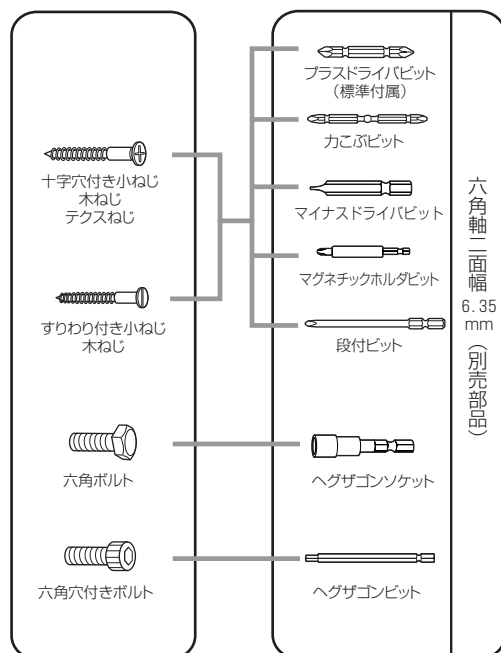
標準付属品

品名・形名	工具本体 仕様	DV 14DBL			
		2LSCK	2LLCK	2LJCK	NN
蓄電池		BSL 1430 2 個 (本体装着 1、予備 1)	BSL 1440 2 個 (本体装着 1、予備 1)	BSL 1450 2 個 (本体装着 1、予備 1)	—
充電器 UC 18YSL 2		1 台	1 台	1 台	—
ビット (No. 2 プラスドライバビット)		1 本	1 本	1 本	1 本
サイドハンドル		—	—	—	—
収納ケース		1 個	1 個	1 個	—
電池カバー		2 個	2 個	2 個	—

品名・形名	工具本体 仕様	DV 18 DBL			
		2LSCK	2LLCK	2LJCK	NN
蓄電池		BSL 1830 2 個 (本体装着 1、予備 1)	BSL 1840 2 個 (本体装着 1、予備 1)	BSL 1850 2 個 (本体装着 1、予備 1)	—
充電器 UC 18YSL 2		1 台	1 台	1 台	—
ビット (No. 2 プラスドライバビット)		1 本	1 本	1 本	1 本
サイドハンドル		1 個	1 個	1 個	1 個
収納ケース		1 個	1 個	1 個	—
電池カバー		2 個	2 個	2 個	—

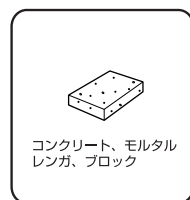
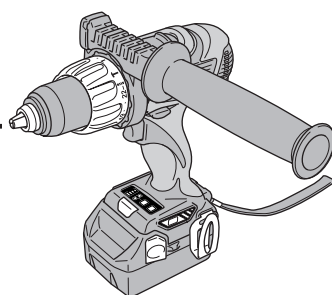
各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



注 能力より小径のねじやボルトを締めると、ねじやボルトが切れる恐れがあります。また、能力より太径のねじやボルトを締めると締付け不足になることがあります。

回転 ドライバドリル機能
1~22 /



デルタゴンビット
(振動ドリル用)

別売部品

**回転
+
打撃** 振動ドリル機能

各操作部(機能)の使い方

●フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどに吊下げる機能を持っています。

⚠ 警告

フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

使用例

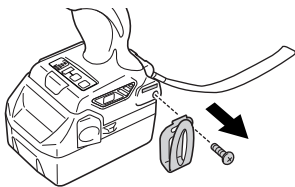


⚠ 注意

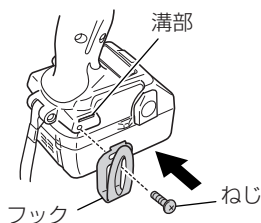
- フックを腰ベルトに掛けて工具本体を運ぶときは、工具本体の先端にソケット以外は取付けないでください。
ドリルなどの先端がとがったものを取付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。
- フックはしっかりと取付けてください。
フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



●スイッチで回転数を微調整

スイッチの引込み量で無段階に回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。
また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

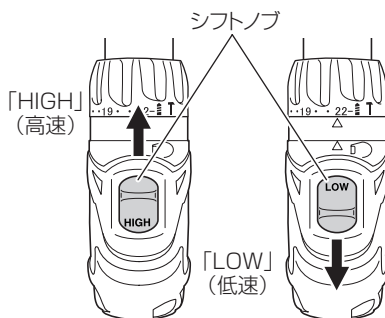
●シフトノブで回転速度切替 (HIGH/LOW)

速い回転でねじ締めを行いたいときは、シフトノブを「HIGH」(高速)へ、ゆっくりした回転で行いたいときは、「LOW」(低速)へ切替えます。
ドリルとして使用しているときも有効です。

注・シフトノブで回転数を切替えるときは、必ずスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。

モーターの運転中に回転数を切替えると、内部の歯車を傷めます。

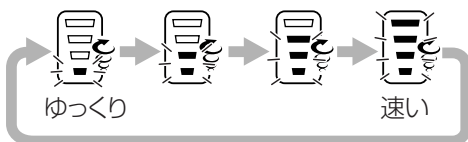
- 大きな力が必要な作業(右表を目安にした作業)の場合は、シフトノブを「LOW」側にてご使用ください。「HIGH」側で使用すると、モーターが早期に故障する原因になります。



シフトノブを「LOW」側にして使用する場合	
金属 穴 あ け	φ 6.5 mm 以上
木 材 穴 あ け	φ 18 mm 以上
木 ね じ 締 め	D4.8 × 40 mm 以上

●回転数切替スイッチ

工具本体側面の回転数切替スイッチを押すごとに、回転数表示ランプが下図のように点灯し、回転数が4段階に切替わります。作業に応じて回転数を選択してください。



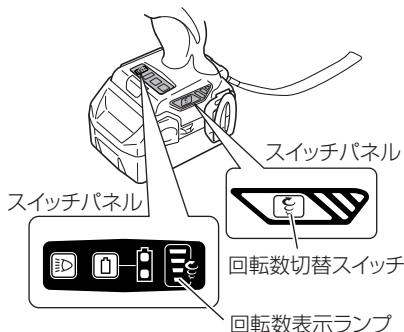
シフトノブ「HIGH」/「LOW」との組合せで、最高回転数が8段階に設定できます。

最高回転数については、P10「仕様」を参照してください。

注 回転数切替は蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと切替えできません。

⚠ 注意

回転数切替はスイッチを入れてない状態で行ってください。
故障の原因になります。



回転数切替とシフトノブの設定例

回転数表示 ランプ シフトノブ	弱1 	弱2 	中 	強
「LOW」 (低速) 	1 2 小径の機械ねじ、 タッピングねじ締付け 等の軽作業		3 4 木ねじ締め、大径穴あけ等の 大きな力を必要とする作業	
「HIGH」 (高速) 	5 6 小径穴あけ等のあまり大きな 力を必要としない作業		7 8	

注 表中の数字 1 → 8 は、無負荷状態で数字が大きくなるほど最高回転数が大きくなります。

●電池残量表示ランプについて

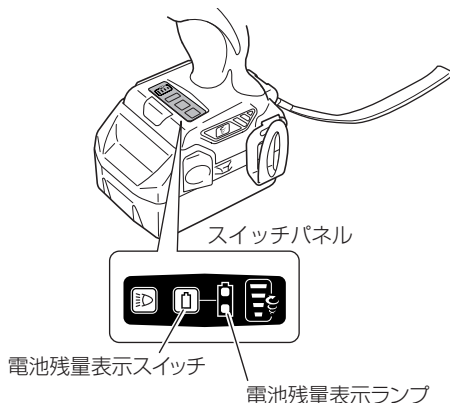
電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの 点灯状態	電 池 残 量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。 早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。



- 注**
- 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。
 - ランプは蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。
 - 電池残量が少なくなり、保護機能がはたらいた状態でスイッチを引くと、回転数表示ランプはすぐに消灯しますが、故障ではありません。
このときは速やかに充電してください。
(P 6「リチウムイオン電池の使用上のご注意」参照)

●LEDライトの使い方

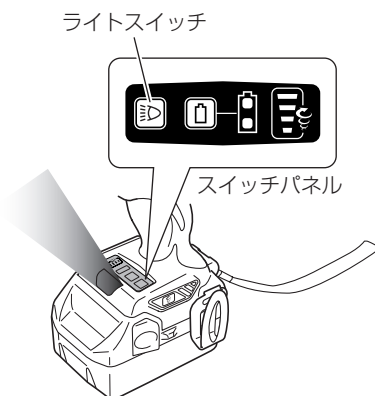
⚠ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびにLEDライトが点灯・消灯します。

蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。

- 注 • LEDライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約 15 分経過すると自動で消灯します。
- LEDライトは蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないとライトスイッチを押しても点灯しません。



●キーレスチャックの使い方

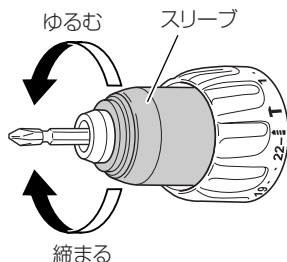
ゆるめる

スリーブを左方向（正面から見て反時計回り）に回し、つめを開きます。

締める

スリーブを右方向（正面から見て時計回り）に回し、「カチカチ」と音がするまで締めます。

作業中にゆるんだ場合は、さらに強く締めてください。把握力が大きくなります。



- 注 キーレスチャックのつめを最大に開いた状態からさらに開くと、スリーブを締めるとき「カチカチ」と音がします。キーレスチャックのゆるみ防止の音で故障ではありません。

音が気になる場合はスリーブを左方向に少し戻してから締直すと「カチカチ」という音が消えます。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源やエンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3

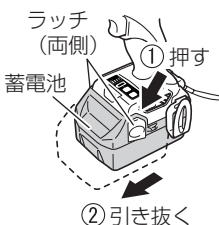
電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P18「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



・蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。

・充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑の

いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

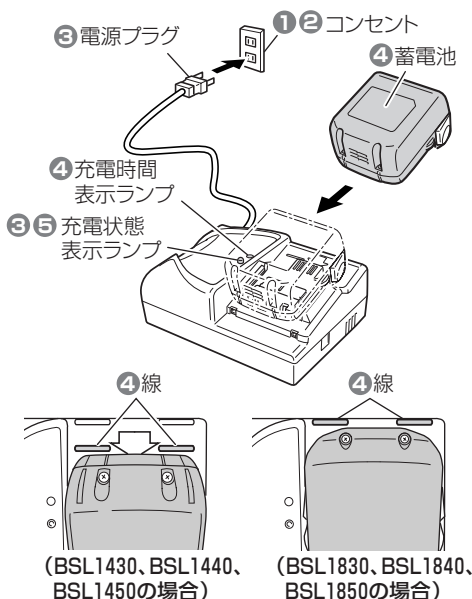
⚠ 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5

充電が終わったら

- ・充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- ・電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間

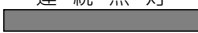
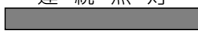
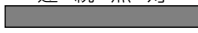
BSL1430/BSL1830 : 約22分
BSL1440/BSL1840 : 約30分
BSL1450/BSL1850 : 約35分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついてます。

各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5分
	赤点滅	0.3秒点灯／0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あります。 (下記参照)

注 ● 橙の速い点滅(0.1秒点灯／0.1秒消灯)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約2秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつかた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

ねじを締める／はずす

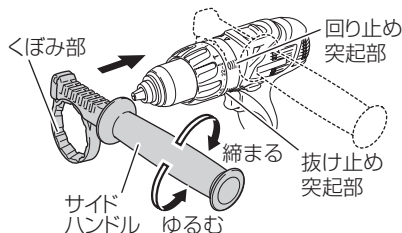
小ねじ・木ねじ・タッピンねじ
などの締付け、取りはずし

⚠ 警告

ドライバビットの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

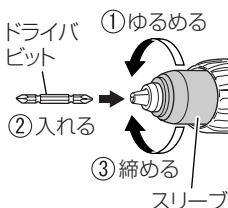
1 サイドハンドルを取付ける【DV 18DBLのみ】

サイドハンドルのくぼみ部を本体の回り止め突起部にかみ合わせ、グリップ部を回してしっかり締付けます。



2 ドライバビットを取付ける

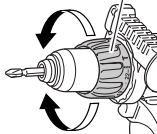
スリーブをゆるめて、ビット挿入後、「カチカチ」と音がするまでスリーブをしっかり締付けます。



3 クラッチダイヤルの目盛りを合わせる

クラッチダイヤルを回し、作業に応じて、締付けトルクを調整します。

(P20「締付けトルクの調整」参照)



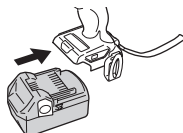
4 回転方向を合わせる



- 正逆転ボタンを押して、ねじの締付け方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

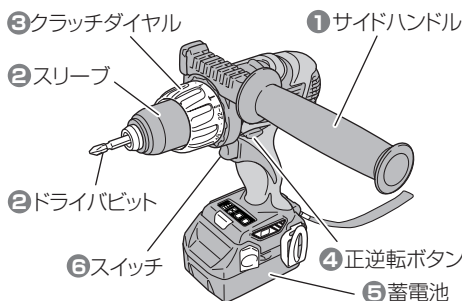
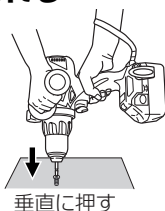
5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



6 スイッチを入れる

- ビットの先をねじ頭部の溝に当て、スイッチを引きます。
- ねじの頭からビットがはずれない程度の力で押しつけます。



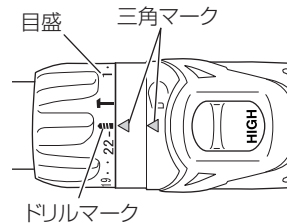
注 運転中は正逆転ボタンの切替はできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

⚠ 注意

- サイドハンドルは確実に固定してください。
取付けが不完全ですとサイドハンドルが回転したり、抜け落ちて、けがの原因になります。
- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビットは高温になっているので触れないでください。

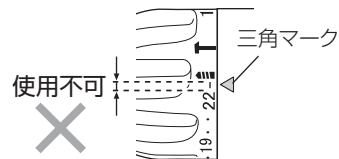
● 締付けトルクの調整

- クラッチダイヤルの目盛りを変えることにより、締付けトルクを調整出来ます。目盛り数値が大きくなるほど大きな力でねじ締め（またはねじはずし）ができます。ねじ径やねじ締めをする材料に合わせて調整してください。
- 必要以上に力がかかると、クラッチが動作して（カチャカチャと音がする）ねじの締めすぎを防止します。
- 三角マークと目盛り「1～22」または黒丸、ドリルマーク「」が合うようにクラッチダイヤルを回します。



目盛り	1 ・ 4 ・ 7 ・ 10 ・ 13 ・ 16 ・ 19 ・ 22	
作業の目安	小ねじの締付けや、 やわらかい木材 ←————→ かたい木材	使用不可 太い木ねじ

注 三角マークが「22」とドリルマーク「」の間に位置した状態では、使用しないでください。
故障の原因になります。



● ねじ締め作業が可能な範囲

材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
ねじ締め ナット締め	1 ～ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビット、ソケットをご使用ください。
木ねじ締め	1 ～ 	DV 14 DBL 呼び径 8 mm × 長さ 75 mm DV 18 DBL 呼び径 8 mm × 長さ 100 mm	下穴をあけて作業してください。

注 締付けるねじに合わせてクラッチダイヤルを回し、締付けトルクを調整してください。
締付けトルクが強すぎるとねじが切れたり、ねじ頭を傷めます。

穴をあける

鉄工ドリルで金属の穴あけ
木工ドリルで木材の穴あけ

⚠ 警告

ドリルの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

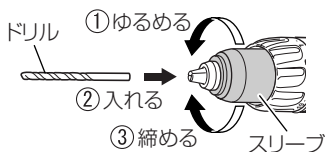
⚠ 注意

- サイドハンドルは確実に固定してください。
取付けが不完全ですとサイドハンドルが回転したり、抜け落ちて、けがの原因になります。
- 穴あけ直後のドリルや木くずは高温になっているので触れないでください。

1 サイドハンドルを取付ける (P 19 の① 参照)

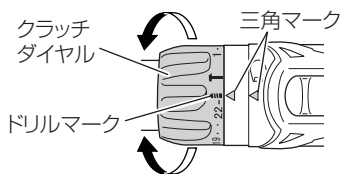
2 ドリルを取付ける

- スリーブをゆるめてドリル挿入後、「カチカチ」と音がするまでスリーブをしっかりと締付けます。
- 木ねじの下穴や 10 mm 以下の穴には鉄工ドリルをご使用ください。

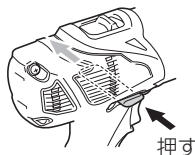


3 クラッチダイヤルのマークを合わせる

[回転] は、クラッチダイヤルを回して、ドリルマーク「」を三角マークに合わせます。



4 回転方向を合わせる

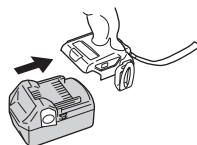


- 正逆転ボタンを押して、ねじの締付け方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

注 ドリル「」でご使用の際、モーターの回転が停止する場合がありますが、数秒間停止を続けないようにお使いください。
モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因となります。

5 蓄電池を取付ける

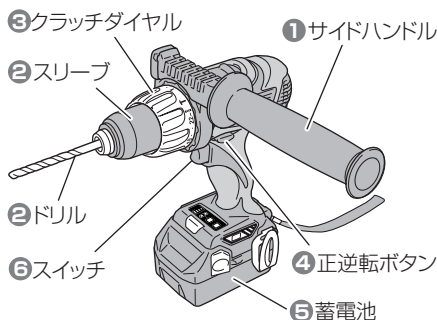
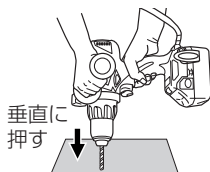
右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



6

スイッチを入れる

(P23「木材にきれいな穴をあける」
「金属へ上手に穴をあける」参照)



7

材料からドリルを抜く

スイッチを入れたまま(回転したまま)、
ドリルを引き抜いてください。
または、いったんスイッチを切り、正逆
転ボタンを逆回転(⤵)側から押して再度
スイッチを入れて引き抜いてください。

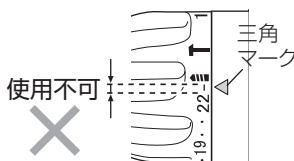
●穴あけ時のクラッチダイヤル位置(マーク)設定

- ドリルとして金属や木材に穴あけする場合は、ドリルマーク「<」(「回転」機能)を三角マークに合わせます。
- 振動ドリルとしてコンクリート・モルタル・レンガ・ブロックなどに穴あけする場合は、ハンマーマーク「⬏」(「回転+打撃」機能)を三角マークに合わせます。

注・三角マークが「22」とドリルマーク「<」の
間に位置した状態では、使用しないでください。
故障の原因になります。

・ドリルマーク「<」とハンマーマーク「⬏」の
中間では固定できません。

・ねじの締付け・ゆるめや、金属・木材の穴あけには、
ハンマーマーク「⬏」(回転+打撃)を使用しないでください。
能率が上がらないばかりでなく、ねじやドリルを傷める原因になります。



●穴あけ作業が可能な範囲

材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
穴あけ	<	鋼 材 : 直径 13 mm (板厚 1.6 mm)	モーターの 回転を停止 させないよう ご使用く ださい。
		アルミ : 直径 13 mm (板厚 1.6 mm)	
		木 材 : DV 14 DBL 直径 50 mm (板厚 18 mm) : DV 18 DBL 直径 65 mm (板厚 18 mm)	
	⬏	モルタル・レンガ・コンクリート	
		: DV 14 DBL 直径 14 mm (穴あけ深さ 30 mm) : DV 18 DBL 直径 16 mm (穴あけ深さ 30 mm)	

上手な穴のあけ方

●下穴をあける

ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。

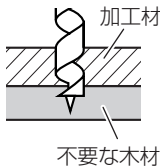
下表を参考にしてください。(できるだけプラス溝の木ねじをご使用ください)

木ねじ呼び径(mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1	5.5
下穴径(mm)	2.0 2.2	2.2 2.5	2.5 2.8	2.9 3.2	3.3 3.6	3.6 3.9	3.9 4.2	4.3 4.6

●木材にきれいな穴をあける

不用な木材を下に敷き、
加工材と一緒にあける

木工ドリルが裏側へ
突きぬけるときの発
生するバリを防ぐこ
とができます。



または

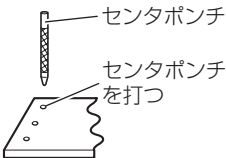
木工ドリルの先が少し裏側に
出たときに、裏側から穴をあ
ける



●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先がすべらず、
決まった位置に穴あけができます。



さらに

鉄工ドリルの先に機械油か
石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

注

金属に穴をあける場合、穴の抜けぎ
わに大きな力がかかり、ドリルがキ
ーレスチャックからすべることがあ
ります。

このような場合は、工具本体の押し
つけ力を弱め、ドリルがすべらない
ようにしてください。

●コンクリートなどへの穴あけ

- 必要以上に力を加えても決して早く穴はあきません。かえってドリルの先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、工具体体の寿命も短くなります。
- 工具体体は 10 ～ 20 kg 程度の押しつけ力（推力）でご使用ください。
- コンクリートの穴あけは先端工具が石や鉄筋に当たると穴があかない場合があります。
- 充電当りの穴あけ個数は下表を参考にしてください。
先端工具、相手の材料などにより異なる場合があります。

【DV 14DBLの場合】

ドリルの直径	材 料	穴あけ深さ	穴あけ個数
			BSL 1450
10 mm	モルタル	30 mm	122 個

締付け作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

太径の木ねじ締付け等の連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は本機を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具体体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）でモーターを停止させるねじ締め作業を連続に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●工具の保持と押しつけ力について

工具体体は両手で確実に保持してください。工具体体を保持した際には、ねじやボルトに対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、工具体体は必要以上に押しつける必要はありません。

工具体体をこじる力や押しつける力が過度にかけると、工具体体の故障の原因になりますのでご注意ください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ドリル、ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドリルを、そのまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、能率も落ちますから早めに再研磨するか、新品と交換してください。

また、先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●モーター部の取扱について

モーター部(P8「各部の名称」参照)の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

- 注**
- ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●取付ねじの点検

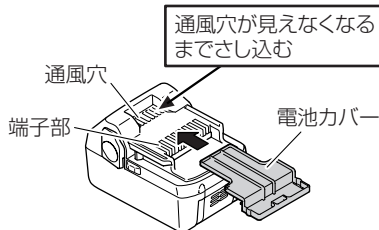
工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。ゆるんでいたら、締直してください。

●リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3ヶ月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

- 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点を
ご確認ください。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>